

委員長 村山ゆかり
副委員長 米倉 靖夫
委員 横田 美樹／珍田 亮子／
戸水美保子／笠原 昌史／
野崎 良夫



▲黄金岬海浜公園の現状を調査する第1常任委員会

5月24日の常任委員会は、6月の第2回定例会に向けた議案事項として、今年10月予定されている消費税率10%の引き上げに対処する国の対策「留萌市プレミアム商品券発行事業」4973万2千円について説明を受けました。

この事業は、2019年度住民税非課税者など約7千人を対象に25%のプレミアム付き商品券を販売。申請書発行は7月で使用終了は2月下旬を予定しているという。

6月20日の常任委員会では、所管事務調査の後、千望台と黄金岬海浜公園の観光施設の現状を調査しました。特に観光客の利便性を高めるために施設が改築される「オレンジハウス」を中心に視察しました。

第1常任委員会

委員長 鶴城 雪子
副委員長 芳賀 博康
委員 小沼 清美／海東 剛哲／
燕 昌克／小野 敏雄／
村上 均



▲大規模改修が行われる留萌中学校の校舎

今年度を実施する事業内容としては、港北小学校屋内運動場改修事業として、煙突の断熱材に使用されているアスベストの除去工事を行うとのことでした。

また、留萌中学校の整備事業として、留萌中学校大規模改修施設設計と旧千鳥プール解体工事の実施など、学校整備計画についての報告を受けました。

6月14日に留萌中学校で起きた学校給食の白米に金属片が混入した件について、その発見状況や異物発見時の学校の対応、給食センターの対応、異物混入原因、今後の対応のほか、再発防止に向けた管理や指導などの説明を市教育委員会から受けました。

第2常任委員会

委員長 笠原 昌史
副委員長 戸水美保子
委員 横田 美樹／小沼 清美／
海東 剛哲／芳賀 博康／
珍田 亮子／村山ゆかり



▲議会だよりや議会かわら版、インターネット中継などの広報活動

前期までは議会広報常任委員会として、議会だよりの編集と発行、ホームページの公開やインターネット、ラジオなどを活用した議会の広報などについて活動していましたが、今期からは「議会の広聴活動」が新たに加わり、議会広報広聴常任委員会として活動することになりました。

平成26年10月1日に施行された「議会基本条例」に基づき、市民の皆さんからの意見や要望を聴くための「市民と議会の意見交換会」も当委員会が担当となります。

市民の皆さんに信頼される議会の構築に向け、さまざまな手段を活用し、皆さんの意見を聴きながら、情報の公開と説明責任を果たすことができるように努めていきます。

議会広報広聴常任委員会

留萌市議会だより

第133号

令和元年8月1日発行

●留萌市議会事務局

TEL42-1907 FAX43-6700

URL : <http://www.e-rumoi.jp/gikai/index.html>

E-mail : rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp

留萌市議会

検索



※左記のQRコードからも
留萌市議会のホームページにアクセスできます。

議会です こんにちは

主な内容

- P12 ・議員14人の新体制が本格始動！
- P13～P14 ・今後4年間の抱負
- P15～P18 ・第1回定例会一般質問項目
- P18 ・こんなことが決まりました
- P19 ・各組合議会からの報告 ほか

議員14人の新体制が本格始動！

市民の皆さん、こんにちは。留萌市議会は、令和元年5月から新たな組織体制が動き始めました。小野敏雄議長を中心に「第1常任委員会」「第2常任委員会」「議会広報広聴常任委員会」「議会運営委員会」が本格始動しました。特にこれまでの議会広報常任委員会に広聴機能を拡大し、委員8人体制で組織力をアップ。市民にわかりやすい議会を目指します。

留萌市議会は、新人議員4人が仲間入りした14人体制でスタート。また、女性議員6人となり、女性の割合が全道2位となりました。令和元年第2回定例会一般質問では、1日目の4人全員が女性議員という過去にない登壇風景となりました。

これから4年間、第1・第2常任委員会では、山積する諸課題を真摯に協議していきます。また、議会運営委員会では、議会基本条例の推進を念頭に、ペーパーレス化などを目的としたタブレットの導入や議会モニター制度の導入などを検討していきます。



【かずの子条例をPR】

5月5日、「かずの子のまち留萌フェスタ」の会場で、平成28年に留萌市議会が制定した「かずの子条例」を紹介したチラシとKAZUMOちゃんのイラスト入りうちわを配布し、地場製品の振興とかずの子の消費拡大をPRしました。



▲「かずの子のまち留萌フェスタ」に参加した10人の市議会議員

1次産業を中心とした産業の発展を目指し、子どもが安心して、さまざまな事にチャレンジ出来るまちを目指します。



7 米倉 靖夫 議員

市民の皆さんのお声をしっかり伺って、留萌市がもっと元気で住みよいまちになるよう、一生懸命に働いて参ります。



8 戸水 美保子 議員

超少子高齢化が進む中で、さまざまな行政課題に民意をしっかりと反映させる議会活動をしたいと思っています。



9 小野 敏雄 議員

市民の声と想いをつなぐ「架け橋」となり、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのために取り組みます。



10 笠原 昌史 議員

地域の声が市政に反映され、子どもから高齢者までが暮らしやすいと感じることのできるまちづくりに取り組みます。



11 鵜城 雪子 議員

地場産業の振興、地域医療の充実、防災と福祉を組み合わせた地域作りを目標に議員活動に取り組みます。



12 村上 均 議員

16年間を礎に5期目も一生懸命に働きます。特に子育てしやすいまち、医療と介護の連携に力を尽くします。



13 村山 ゆかり 議員

「未来へー持続可能なまちづくりを一前に！」を活動目標とし、チェック能力と政策形成能力を高めて行きます。



14 野崎 良夫 議員

市民を代表する14人 今後4年間の抱負



若者の流出、人口減、高齢化、商店街の疲弊など…市民の生活を取り巻くさまざまな課題が山積している中、留萌市議会議員の役割が大きくなっています。今期、市議会議員として活動する14人の議員が今後の抱負を述べました。

市民の声を行政に届け、安心して生活できる環境づくりや資源の有効活用に着目し、安定した財源の確保を提案します。



1 横田 美樹 議員

子どもや高齢者、障がいのある人たち、誰もが笑顔で安心して住み続けられるまちを目指し、市民に寄りそって活動します。



2 小沼 清美 議員

子どもたちの伸びしろは留萌の伸びしろ。市民の活力で未来を創る若者たちを支える地域づくりを目指します。



3 海東 剛哲 議員

「福祉・医療・防災」を基本に、市民一人ひとりの声を聞き、安心・安全に暮らせる「るもい」をつくっていききたい。



4 芳賀 博康 議員

安心して安全なまちづくりを進めるため、これからも住み続けたいと思える、充実した地域の形成を目指します。



5 燕 昌克 議員

みんなが未来に誇れる留萌、全ての人が安心して暮らせるように、開かれた市政と財政の健全化、福祉対策と若者の定住。



6 珍田 亮子 議員

令和元年第2回定例会

一般質問と答弁



むらやま
村山 睦子
萌芽クラブ

【質問】道の駅と留萌港の連携

全面供用開始から3年経過した「るしんふれ愛パーク」の成果と課題を伺いたい。現在、検討している道の駅に子育て環境充実のため、屋内遊技場の建設を提案したいが考えはあるのか。「食す」機能について、出店を希望している事業者はどの程度いるのか。

留萌港南岸にある小麦倉庫の老朽化が激しく、外壁が剥離している。荷役作業、イベント開催時に危険だと思いが、安全対策と建替えの可能性はないのか。

【答弁】公園利用者が年々増加しているが、冬期間の利用者減少、イベント企画など賑わいづくりが課題となる。

道の駅は、令和2年春のオープンを予定している。道の駅は「遊び」「憩い」「学び」の機能に加え、国の交付金支援による施設整備として、子どもたちが遊べる機能を兼ね備えた交流施設を検討している。事業者との協議は、当初より減少してきた。道の駅基本計画素案をしっかりと伝え、出店希望者との協議を継続したい。



▲外壁が剥離している留萌港南岸の小麦倉庫

【質問】保育士不足解消策と保育環境整備

市が検討している小規模保育事業の進捗状況を伺いたい。

市内3保育園の建物は、老朽化が進んでいる。留萌保育園と沖見保育園を統合し、新たな保育環境整備を検討すべきと思う。留萌萌幼会と話し合いがあるのかお聞きたい。

【答弁】小規模保育は、市内のNPO法人から実施に向けた提案があり、協議している。受け入れ人数は、0歳児が2人、1〜2歳児が12人で、場所はな



こぬま
小沼 清美
無会派

【質問】教員の働き方改革について

先生たちが子どもたちとゆとりをもって接することができるように、教育現場の声をしっかりと聞きながら、市として独自でできることをどんどんやっていき、北海道や国にも要望していかなければならない。音楽、体育、理科など専科の先生たちの定数配置以外の人的支援は、空き時間をつくるという意味で、教員の業務軽減に効果が高いと考えるが、市独自または国や北海道の人的支援について伺いたい。

【答弁】市では、教員の事務を補助する学校事務補助員のほか、学習補助員や特別支援教育支援員を配置。国・北海道では外国語専科教員の加配、外国語と理科の非常勤講師、事務補助員などを配置。学校の課題や状況を見極めながら、必要に応じて適正に配置しており、教育的配慮が必要な場合は加配するなど、教職員の負担軽減に向け、引き続き適正な配置に努めていく。

また、少人数学級の早期実現と教職

るべく、まちなかの市の施設を希望している。

昨年、11月に留萌萌幼会と市長との意見交換を実施した際に園舎改築に向けた意見をもらっている。今後も協議を続けていきたい。



▲障がいのある人のための就労支援施設

【質問】障がいのある人たちが住み続けるための施策について

障がいのある人たちのための就労支援相談と施設の状態を伺う。また、就労支援施設に通っている障がいのある人たちが、家庭の役割を担う共同生活援助（グループホーム）が留萌になく、いざれ住み慣れた地を離れなくてはならないという問題を解決するためには、事業者まかせではなく、行政の責任で推進していかねばならないと考えが見解を伺いたい。

【答弁】市内には基幹相談支援事業所含め2カ所、道北地区に1カ所の就業に係わる相談事業所、市内6カ所の就労支援施設がある。共同生活援助については、障がい福祉サービス事業所のヒアリングで、人材確保が厳しいことと経営面の理由から、新たに施設を設置するのは難しいという回答を得ている。次期「障がい支援計画」を策定す



とみず みほこ
戸水 美保子
留萌公明党

【質問】ごみの収集について

今後のごみ処理方法について、どのようなお考えをお持ちか。また、高齢化が進む中で、クリーンステーションまでごみを運ぶことが困難になってきている方もいるが、必要な方の条件を整理し、戸別収集することができないか。

【答弁】平成25年度から、23種類プラスチックの分別を行っている。市民から分別種類が多いとの声があることを承知している。焼却処理に関する技術が進歩してきていることから、今後、埋め立てるごみを減少することができ、かつ市民の分別負担軽減につながるごみ処理方法について、課題や問題点について留萌南部衛生組合の構成3市町で検討していきたい。

戸別収集については、道内10市で行われ、近隣の自治体でも支援が行われている。

支援が必要な方の場合、介護給付の中でヘルパーさんの活用なども考えられると思うが、実態を把握した上で、関係する機関や収集業者の方などとも



▲雑食性で、凶暴なアライグマ

情報交換をしながら、協議を進めたい。

【質問】鳥獣被害の防止対策について

戸外で飼育されているネコについては、事故の危険性があるため、ネコの飼育を啓発してはどうか。一部の自治体で行われているように、戸外のネコを増やさないための不妊手術の助成は考えられないか。アライグマが増えていると聞くが、被害が拡大しないいうちにできるだけ排除していくべきと考えるがどうか。

【答弁】広報るもいや町内回覧などにより、定期的にネコの適正飼育について啓発していく。

アライグマは繁殖力が高く、危険がある特定外来動物で、地域固有の生態系への影響や農作物被害の増加、動物由来感染症の伝播による人への健康被害が懸念されることから、箱わなを増やすなどし、引き続き捕獲を推進していく。山を超えて移動するので近隣との連携も図り、捕獲を進めていく。



うしろ ゆきこ
鵜城 雪子
無会派

【質問】待機児童解消対策について

北海道の公表では、昨年4月1日の待機児童数は、道内の市で赤平市1人、富良野市1人、北広島市5人、稚内市と留萌市が各13人となっている。留萌市の待機児童は、平成21年から平成29年までは0人で、30年に13人、今年2月時点で45人と驚く程の人数となっている。

わずか人口2万1千人ほどの留萌市において、多くの待機児童がた要因を市はどのように捉えているのか。さらに、待機児童の現状にどのような対策を講じているのかお聞きたい。

離職率の高い職場には、離職する要因があると考えられるが、職場内で職場環境に対するアンケートや指導は行って来たのかお聞きたい。

保護者の方からの保育所に対する意見やクレームは一年間でどの程度あったのかお聞きたい。

留萌市立病院内保育所は現在17人の児童が利用し、6人の職員が働いているが、病院の事務で働く保護者の子どもも入所できるようにすると、現状の待機児童が保育所に入る可能性がでるが、市長の考えをお聞きたい。

【答弁】保育ニーズが高まる中で、退職した保育士の補充が追いついていない

ことが待機児童発生の一因の一つで、法人とともに保育士募集の周知や潜在保育士の情報収集に努める。

基本的には、社会福祉法人が運営しているの、聞き取りをしたところ、クレームはないと聞いている。

院内保育は、院内で決めているのが現在の状況なので、これから慎重に検討していく。



▲待機児童ゼロを目指す保育園

【質問】黄金岬の整備計画について

観光客入込数が最多の黄金岬の今年度の整備と次年度以降の整備予定をお聞きたい。

無料キャンプ場の使用ルールの徹底や駐車場の整備に対する考え方もお聞きたい。

【答弁】黄金岬の「オレンジハウス」は9月以降に解体し、来年度に向け新しいトイレの建設を予定しており、休憩施設などの整備も検討したい。

キャンプ場は、今後、問題が発生すれば然るべき措置を考えている。駐車場の白線については協議していく。

各組合議会からの報告

留萌消防組合議会

留萌消防組合議会は、留萌市から5人、小平町から3人の議員が選出され、消防行政におけるさまざまな案件を取り扱うために組織されています。

令和元年度は、改選期ということもあり6月3日に第1回臨時会を開催し、正副議長の指名推選、北海道町村議会議員公務災害補償等組合

規約の一部を変更する規約および北海道市町村総合事務組合規約の一部を変更する規約の2件を原案可決し、監査委員の選任について同意しました。

今後は、安心安全な地域防災の発展に向けた一助となるべく、取り組んでまいります。

議長 燕 昌克 監査 村山ゆかり

議員 芳賀 博康／米倉 靖夫／戸水美保子

留萌南部衛生組合議会

自治体議員選挙終了後、初めての「留萌南部衛生組合議会」の第1回臨時会が、6月3日午後3時半から留萌市議会議場で開かれ、議長に野崎良夫（留萌市）、副議長に松倉清道（増毛町）が選出され、監査委員には前崎正弘（小平町）を任命することに同意しました。

また、規約の一部変更の2件を可決しました。

規約の一部変更は加入団体の脱退（北空知葬斎組合など）に伴うもので「北海道市町村議会事務組合規約」と「北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約」をそれぞれ変更しました。

議長 野崎 良夫

議員 横田 美樹／海東 剛哲／村上 均

編集後記

4年間、 よろしくお願いします



令和という時代の初めての定例会が終わりました。今、留萌市が直面している課題の解決や将来も安心なまちづくりを目指し、14人全員の熱い心をたぎらせて、いざスタート！（戸）

市民育樹祭に参加

暖かな春の日差しのもと、5月12日に市民育樹祭が「神居岩公園21世紀桜の丘」で行われ、林活議連から6人参加しました。

開会式で活動の説明を受けた後、市が準備してくれた肥料を持ち、それぞれがエリア内のエゾヤマザクラ、ヤエザクラのもとへ。枝先の下辺りに広がっている木の根が栄養を吸収しやすいように、丁寧に肥料を撒きました。参加者全員での作業が順調に進み、1時間ほどで施肥は終了。たくさんの方の桜に包まれ、気持ちの良い作業でした。



閉会式では、中西市長から留萌市が「さくら功労者」として公益財団法人日本さくらの会から表彰されたとお話がありました。これは、市が20年間にわたり、桜の保護、植栽、育成を行ってきたことを称えたものです。

道内の地方公共団体として、平成14年の初山別村以来、2団体目の受賞となります。

本年度、受賞できたことは、とても嬉しいニュースでした。

こんなことが決まりました

令和元年 第2回定例会
6月4日～18日

令和元年第2回定例会が15日間の会期で開催され、諮問1件、報告5件、議案8件、意見書案5件などを審議しました。

- | | | |
|--------|---|--------|
| 【諮問】 | 人権擁護委員の推薦について | 適任 |
| 【報告】 | 平成30年度留萌市一般会計に係る放棄した債権の報告について | ほか4件 了 |
| 【議案】 | 令和元年度留萌市一般会計補正予算（第1号）について
令和元年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について
留萌市森づくり基金条例制定について
留萌市介護保険条例の一部を改正する条例制定について
留萌市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について
留萌市都市公園条例の一部を改正する条例制定について
留萌市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定について
留萌市過疎地域自立促進市町村計画の変更について | 原案可決 |
| 【意見書案】 | 「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書
2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書
2019年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書
信頼される政府統計を目指してさらなる統計改革を求める意見書 | 原案可決 |



つばめ

まさかつ

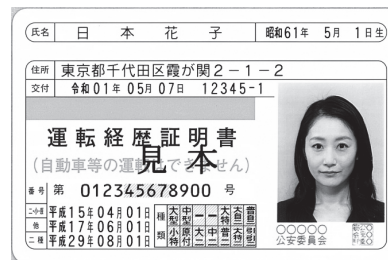
昌克

萌政会

高齢者福祉事業を行ってきた経緯から、免許証自主返納について、庁内連携をしながら対応していきたい。

質問 道の駅について

【質問】運転免許証の自主返納について最近、高齢者による交通事故のニュースを目にすることが多くなってきました。運転免許証を返納する高齢者も増加している。運転免許証の自主返納者に対し、タクシーおよびバスの運賃割引や商品券の贈呈などを実施している自治体が増えているが、家族相談会の開催や運転経歴証明書交付手数料助成など、行政の支援の可能性について市長の見解を伺いたい。



▲公的な本人確認書類として使える
運転経歴証明書

【答弁】自主返納者に対する支援は、高齢運転者の事故の発生状況や自主返納の増加傾向を踏まえ、今後の支援の必要性や方向性について見極めたいと考えている。家族相談会の試みは必要と考えており、庁内で検討したい。また、以前に福祉バスや福祉タクシーなどの

【答弁】来春にオープンを目指す方針に変わりはなく、これまでに頂いた意見などを踏まえ、引き続き議論が必要であると考えて9月までに素案を見直し、11月を目処に基本計画を策定する。整備費用については、現在積算中だが、授乳スペースなどの登録申請時に必要となる最小限の機能のほか、物販などはプレハブなどの仮設物での対応する。後年度において市が単独で整備するものと国の交付金を活用しながら整備するものを見極め、段階的に拡張していきたい。財政が硬直している中ではあるが、次年度には浜焼きなどを実施できる施設、令和3年度には子どもたちが遊べる機能や子育て支援機能を備えた施設整備を検討したい。